

パイオニア・インベストメンツ・グループの売却について、 ウニクレディがアムンディと合意

2016年12月14日

12月12日(現地)、イタリアのウニクレディ銀行グループ(以下、ウニクレディ)が、フランスの大手資産運用グループであるアムンディとの間で、パイオニア・インベストメンツ(以下、パイオニア)の売却につき拘束力の伴う合意に達したとの旨、ウニクレディよりプレス・リリースが出されましたのでご報告申し上げます。

- ・この売却は、ウニクレディのCEOが今年7月の就任以来実施してきた、“strategic review”の一環を成すものです。(ただし、パイオニアのポーランド拠点での事業が売却合意からは除外されています。)
- ・この売却を通じ、ウニクレディがアムンディより受け取る対価は35.45億ユーロです。また、ウニクレディはパイオニアからも3.15億ユーロの特別配当を契約締結前に受領する予定です。この結果、ウニクレディのCET1比率(普通株式等Tier1比率)には、0.78%のプラス効果を及ぼすものと期待されます。(2016年9月末現在、ウニクレディの同比率は10.82%です。)
- ・アムンディとパイオニアの統合により運用資産残高は、欧州で1位、グローバルでも8位の約1.3兆ユーロとなり(2016年9月30日時点、パイオニアのポーランド拠点残高を除く)、拠点は30カ国超に及ぶこととなります。
- ・また、この売却の条件にはウニクレディとアムンディが、イタリア、ドイツ、オーストリアにおける資産運用商品の販売に関し、戦略的パートナーシップを形成することが含まれています。これによりウニクレディは、パイオニア売却後も、パイオニアのリテール向け販売ネットワークの利用が可能となります。
- ・今後の売却・統合に関するスケジュールですが、2017年前半には契約締結条件の確定、各種法規制、独占禁止法にまつわる諸承認を経て、2017年後半には具体的な統合準備を進め、2018年にアムンディと実務も含めた事業統合を完了する見込みです。
- ・事業統合が完了するまでの期間、パイオニアとして一貫した運用サービスの提供についてコミットすることを、パイオニアのCEO兼CIOを務めるGiordano Lombardo氏は、アムンディのCEOであるPerrier氏と連名でのお客さま向けレターで表明しています。

※内容については今後変更になる可能性もありますのでご注意ください。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

▶ **パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用を委託しているマザーファンドを主に保有しているファンドの一覧**

回次コード	ファンド名
3273	みずほ公益インフラ関連ハイブリッド証券ファンド2016-01(為替ヘッジあり)
3289	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03(為替ヘッジあり)(愛称:メジャー・カンパニーズ16-03)
3294	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-03(為替ヘッジあり)II(愛称:メジャー・カンパニーズ16-03II)
3300	みずほ公益インフラ関連ハイブリッド証券ファンド2016-05(為替ヘッジあり)
3303	コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2016-07(為替ヘッジあり)(愛称:メジャー・カンパニーズ16-07)
3307	みずほハイブリッド証券ファンド2016-10(為替ヘッジあり)(愛称:明日へのとびら)
5670	ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)

▶ **パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用を委託しているダイワ欧州好配当株マザーファンドを保有しているファンドの一覧**

回次コード	ファンド名
3044	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ(愛称:ミルフィーユ)(奇数月分配型) 安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)
3045	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ(愛称:ミルフィーユ)(奇数月分配型) インカム重視ポートフォリオ(奇数月分配型)
3046	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ(愛称:ミルフィーユ)(奇数月分配型) 成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型)
3082	ダイワ・株/債券/コモディティ・バランスファンド(愛称:賢者のセオリー)
3089	ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)(愛称:D・51)
3719	DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/安定コース)
3720	DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/6分散コース)
3721	DCダイワ・ワールドアセット(六つの羽/成長コース)

<会社概要>

▶ **パイオニア・インベストメント・マネジメント・リミテッド**

欧州を基盤とし約25兆円の資産を運用する「パイオニア・インベストメンツ・グループ」(欧州大手銀行、ウニクレディット・イタリアーノ S.p.A.の100%子会社。従業員数:2,016人)の運用拠点の1つです。特に欧州株式、欧州債券の運用に強みを持っています。(2016年6月末現在)

▶ **アムンディ**

フランスの農業系金融機関の中央機関として1894年に設立されたユニバーサルバンク、クレディ・アグリコル・グループの資産運用部門です。アムンディの運用資産額は9,850億ユーロ(約130兆円、1ユーロ=131.77円で換算。2015年12月末現在)にのぼり、世界トップクラスの運用会社の1つです。世界30カ国以上の主要な投資地域の中心に拠点をもち、すべてのアセットクラスや主要通貨を網羅する広範囲な運用商品を提供しています。

▶ **ウニクレディット**

パイオニア・インベストメンツ・グループの100%親会社であるウニクレディットはイタリア最大手の金融機関であり、資本金は20,846百万ユーロと欧州有数の資本金規模を誇ります。従業員は全世界で142,000人を数え、17カ国に計7,500支店を擁するグローバル企業です。(2016年9月末現在)

以上

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

ファンドの費用について

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

投資者が直接的に負担する費用		投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
購入時手数料	料率の上限は、 3.24% (税込) です。	運用管理費用 (信託報酬)	費用の料率の上限は、 年2.1816% (税込) です。
換金手数料	料率の上限は、 1.296% (税込) です。	その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 (その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。)
信託財産留保額	料率の上限は、 0.5% です。		

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
 ※ファンドにより異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
 ※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申し込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。